

■ 次期 基本構想との整合性

項目	基本構想(パブリックコメント時の案)	第4次男女共同参画基本計画(素案)
将来都市像	<p>『多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野』</p> <p>…すべての人がこれまで以上に活躍できるまちづくりを推進するため、あらゆる違いを認め合い、お互いの人権を尊重し積極的に活かしていく、多様性(ダイバーシティ)に対する理解と浸透に努めながら、誰もが生涯にわたって人とつながり、いきいきと暮らせる地域共生社会・多文化共生社会の実現に取り組むことが重要です。</p> <p>今後、さらに多様化・個別化していくと予想される様々な課題の解決に向け、文京住宅都市憲章の理念に則り、習志野市に住み・学び・働き・関係する人たちが、それぞれの個性や能力を発揮し、コンパクトなまちの強みを磨き上げ、より結束した都市を実現するため、みんなで考え、手を携えて行動していかなければなりません。そこで習志野市が目指すべきまちの姿を、上記のとおり決めました。</p>	<p>『誰もが尊重され、その人らしく活躍できる社会』</p> <p>…本計画では、男女共同参画をめぐるさまざまな課題を乗り越え、多様性(ダイバーシティ)の観点を踏まえた本市が目指すべき方向性を示すものとして、将来像を上記のとおりとします。</p>
計画期間	<p>令和8(2026)年度から令和23(2041)年度までの16年間 (習志野市前期基本計画)</p> <p>令和8(2026)年度から令和15(2033)年度までの8年間</p>	<p>令和8(2026)年度から令和15(2033)年度までの8年間</p>
位置づけ	<p>『将来都市像を実現するための3つのピース』のうち、 第3章「すべてが協和し充実する「活動」」</p> <p>第1節「多様性を互いに尊重し合う社会の継続」</p> <p>◆家庭・学校・職場・地域社会などあらゆる場面において、国籍や人種、性別、年齢、障がいの有無等にとらわれず、すべての市民がお互いの多様な考え方や価値観を認め合い尊重することで、平和で誰もが自分らしくいきいきと活躍できる社会の実現を図ります。</p> <p>◆今後の人口減少社会において、地域社会の活力の維持・増進を図る上で担い手となり得る外国人にも住みやすいまちとなるよう、学ぶ、住む、働く、家族を形成するなど、こどもから大人まで外国人一人ひとりのライフサイクルに応じた面的な施策を実施します。</p> <p>第2節「誰もが生涯にわたって活躍できる社会の構築」</p> <p>◆誰もがいつまでも安心して働ける職場環境の整備や、地域社会で積極的に活動・交流できる機会や場の提供など、生涯を通じて自分の能力を発揮し、社会で活躍できる環境づくりを推進します。</p>	<p>※本計画における『基本目標』</p> <p>I「全ての個人が尊重される社会づくり」</p> <p>◆課題1「多様性尊重の意識の醸成」 課題2「多様な選択を可能とする教育・学習の充実」 課題3「人権侵害のない環境の整備」</p> <p>II「仕事と生活が調和し、誰もがあらゆる分野に参画して活動できる環境づくり」</p> <p>◆課題1「働く場や市政における多様性の確保」 課題2「家庭・地域への参画とまちづくりにおける多様性の推進」 課題3「生涯にわたる健康維持への支援」</p>